

香川県内公共図書館連携企画「#つながる図書館～タイトルが気になる本～」 各 図 書 館 の 推 薦 図 書 リ ス ト

香川県立図書館	偉大なる、しゅららぼん	万城目 学	かようびのよる	デヴィッド・ウィーズナー
	万城目学氏の著作は、いずれも「何それ？」と目を引くタイトルばかり。読了後に、「だからこのタイトルなのか」と納得するのですが。小説はどれもこれも面白く、全部お勧めしたいものの、どれか1冊選ぶとなると、「何が偉大なんだ？しゅららぼんて、何だ？！」と突っ込まずにはいられない、この本をどうぞ。		昔々、児童資料担当だった頃、文字なし絵本を読みあさった時期がありました。この絵本も文字はなく、リアルな絵だけで話が展開します。まるで1本の映画を見たような読後感、火曜日の夜に起きた不思議な出来事を、あなたも体験してみませんか。きっと次の火曜日の夜、あなたも窓の外をのぞきたくなる…	
高松市夢みらい図書館	ナメクジの言い分	足立 則夫	巨石運搬！ 海をこえて大阪城へ	鎌田 歩
	平安時代より「いみじうきたなきもの(たいそう汚いもの)なめくじ」(『枕草子』)と嫌われていたナメクジ。全身を殻で覆うカタツムリのような人間が増えているこの世の中。殻もなく生身をさらし潔く自分をさらけだすナメクジ。彼らの生態から人間も学ぶべきことがいっぱい！さて、彼らの言い分とは！		絵本に似つかわしくない、豪快なタイトルの作品。今から約四百年前、大阪城を再築するために小豆島から運ばれた大きな石の長〜い旅のお話です。断崖絶壁の石切り場から石工たちの手で石が切り出される様子や大きなソリを使って大勢の手で港まで運ばれ、船に乗せられる様子が生き生きと描かれています。	
高松市牟礼図書館	しんでくれた	谷川 俊太郎	リカバリー・カバヒコ	青山 美智子
	絵本にしてはショッキングなタイトルに児童室で保護者の方が子どもさんに貸し出しするかどうか話し合っている姿を見かけます。でも、本作は命についての谷川俊太郎さんの詩をもとに作られた、絵本です。生きるとは、命とは、子どもだけではなく、大人の心にも響く1冊です。		リカバリー・カバヒコとは日の出公園にあるアニマルライドのカバのこと。このカバヒコには都市伝説があり、自分の治したい所と同じ所を触ると回復するという。近くの新築マンションの住人達が悩みをカバヒコに打ち明け、自分を見つめ直し、前に踏み出して行く。その姿に晴れやかな気分が味わえる1冊。	
高松市香川図書館	先生、大蛇が図書館をうろついています！	小林 朋道	自分はバカかもしれないと思ったときに読む本	竹内 薫
	「先生！シリーズ」14冊目の本書は、タイトルも気になることながらハラハラドキドキする、人間と動物の事件簿を動物行動学の視点で描く本です。読んでみるまでタイトル内容がとても気になるでしょう。どうぞ手に取って気のすむまでお読みください。「先生！シリーズ」はどのタイトルも気になる本ばかりです。		「自分はバカかもしれない。」こう思ったことはありませんか。でもそれは、周りの人間にそう思われているかもしれません。「自分はバカだ。」から「自分、結構できるじゃん。」と感じることができるようになるためにはどうすればよいのか。アメリカと日本を渡り歩いた著者が教えてくれます。	
高松市国分寺図書館	解きたくなる数学	佐藤 雅彦、大島 遼、廣瀬 隼也	サイモンvs 人類平等化計画	ベッキー・アルバータリ
	左右の辺の長さが異なる台形のチーズを4等分することができますか？一見解き方が分からない数学の問題ですが、ちょっと視点を変えると答えが見えてきます。タイトルのとおり、ついつい解きたくなる数学23問にぜひ挑戦してみてください！		サイモンはごく普通の高校生。近頃はネットで知り合った「ブルー」という人物に夢中。実際に会いたくなってきたが、サイモンには葛藤があつて…。サイモンの悩みながらも軽妙な語り口が魅力的。壮大な科学や生物(なくもない?)の話でもなく、爽やかなYA小説なのにガチガチした漢字遣いがカッコいい。	
丸亀市立綾歌図書館	無人島のふたり 120日以上生きなくちゃ日記	山本 文緒	海のなかの観覧車	菅野 雪虫
	タイトルだけ見た時、何だろ？無人島で生活する話？と思いながら読んでみましたが、素晴らしい本でした。膵臓癌ステージ4bの告知を受けた現役作家さんが、死にゆく自分を描きます。死に向かってどんな気持ちで何を思うのか。それはさながら無人島で暮らす様な生活。気持ちの表現が的確で作家さんて凄い。		15歳の誕生日を迎える直前に届いた手紙と黒い砂。うつすらと残る遊園地の記憶と黒い砂を手がかりに透馬は真実を追い求める。真実が明らかになったとき、タイトルの観覧車とどう関係するのか。記憶と再生の物語です。	

丸亀市立飯山図書館	戦国大名は経歴詐称する	渡邊 大門	アインシュタインをすくえ！ 時間と空間をこえた8日間	コーネリア・フランツ
	今の時代経歴詐称がバレたら？そりゃあ大変！SNSで大〇〇。歴史上の偉人ともいえる名門戦国大名にそんなことはないはず。…ところが、「盛ってる」疑惑「お金で買った」色んな謎があるわあるわ…。もしかしたら、どの時代どの地域にもあてはまるのでは？なあって、邪推もふくらむアブない一冊。		“時間と空間”から“タイムスリップ”を想像したあなたは、お目が高い。ドイツからアメリカへの豪華客船でタイムスリップした少女たちのお話。クイーン・メリーⅡから第一次世界大戦前のインペラートルへ。現代に戻る鍵は何？アインシュタインがどう関わる？舞台は実在の豪華客船。そそられませんか？	
坂出市立大橋記念図書館	目の見えない白鳥さんとアートを見にい	川内 有緒	「好き」の因数分解	最果 タヒ
	「何が見えるか教えてください」から始まる、全盲の白鳥さんとの対話型アート鑑賞。本書はアートを通じて語らいあうことで、見えているはずなのに見えていなかったものに気づかされます。アートはもっと気楽に、構えて見なくたっていい。読めばあなたも、誰かと美術館に行きたくなるはずです。		「好き」という感情の因数分解はできる？好きな人、物、事への愛を語ろうとすると、なぜか語彙力は消え失せて、しどろもどろに。それは言葉を生業とする詩人であろうと同等、「好き」の内側にあるものを知ろうとするたびに爆発がおこる。その破裂する瞬間を言語化した1冊。	
善通寺市立図書館	古代文字を解読していたら、研究に取り憑かれた話	大城 道則、青木 真兵、大山 祐亮	名画のネコはなんでも知っている	井出 洋一郎
	「取り憑かれた」という一見恐ろしいタイトルだが、その内容は古代文字の研究を生業とする考古学者たちの日常が綴られたものである。ただし、その日常は一般人からすれば異常で、そのほとんどが古代文字の研究につながっている。タイトルに偽り無し。まさに古代文字に「取り憑かれている」。		ルネサンス期から近代の洋画、さらに浮世絵の中にまで、様々な国や時代をまたいで描かれてきた猫。彼らはなぜそこにいるのか。彼らがいることで名画にどのような物語がうまれるのか。そのナゾを解き明かします。近年SNSで話題になった白い猫、「ボニャール」の解説もありますよ。	
観音寺市立中央図書館	君の臍臓をたべたい	住野 よる	図書館戦争	有川 浩
	一見ホラーのようにも思えるタイトルとさわやかなイラストの表紙とのギャップで、どんな内容なのか興味をそそられます。臍臓の病気に侵された余命わずかの彼女とその日記である『共病文庫』を拾った主人公の僕との物語です。彼女におとずれる想定外の最後にも驚かされます。		図書館で戦争！？何があったの！？どんな話だろう？私が初めて題名を見た時に、このような印象を持った本を推薦します。この本は、アニメ化や実写化されている作品ですので、見たことがある方も多いと思います。もし、まだ読んでことがないようなら、是非読んでみてください。	
観音寺市立大野原図書館	1%の力	鎌田 實	プレゼントの木	いもと ようこ
	1%の力というタイトルが気になり手に取った本です。100%に比べれば、ほんのわずかな「1%」が実は無限大の力を持つ可能性があるということ。その「1%」を誰かのために生きてみる。「1%」見る目を変え、生き方を変えるだけで人生が変わる！！それがみんなの幸福に近づくのだと気づかされた1冊です。		プレゼントの木とは、実際に米国でクリスマス頃に飾られる“ギビング・ツリー”（援助の木）のことです。それを元に絵本では、優しい動物達によってクリスマスプレゼントがどんどん用意されていきます。ラストのくまぼうやからのプレゼントに胸キュン♥です！この素敵な習慣が日本でも広まりますように！！	
観音寺市立豊浜図書館	ウチの子は恐怖の質問大魔王	夏見 モンド	大根はエライ	久住 昌之
	子どもの質問に答えていたはずなのに、気づけば考え込んでいるのは大人のほう。「なぜ？」を追いかける時間は、まるで親子禅問答。コーチングのプロが書いた、笑って悩んで、学んで成長して…質問大魔王との毎日が、ちょっと愛しくなる一冊です。あなたなら、どう答える？		大根は、日本で一番と言っていいほど食べられていて、人気も実力もあるのに奥ゆかしく主張しません。そんな大根から、目立つだけが人生じゃないよと教えられているような気がします。後、料理以外の事も書かれていて、一冊で色んな知識が増えそうです。	

さぬき市志度図書館	ライオンのおやつ	小川 糸	嫌われる勇気	岸見 一郎、古賀 史健
	あるホスピスで提供される、様々な人の忘れられない思い出の「おやつ」を通して見えてくるストーリーに自然と涙が溢れてきます。ほんわかしたタイトルとは裏腹に重いテーマを抱えた作品なのに、読んだ後には温かい気持ちで胸がいっぱいに。あなたには忘れられない思い出の「おやつ」がありますか？		タイトルは、好き勝手に生きることを勧めているわけではありません。過去の経験やトラウマに人生を支配されるのではなく、現在の目的や選択によって生き方は変わられます。自分の信念に基づいて行動した結果として他者から否定される可能性を受け入れ、それでも自分の人生を生きる勇気を持ちたいものです。	
東かがわ市立図書館・引田図書室	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディ みかこ	君の膵臓をたべたい	住野 よる
	イギリスの学校に通うぼくは、否応なく人種差別、格差、ジェンダー等、困難なでき事に触れる毎日を送っている。この本は、日本にいとあまり考えることのない世界のリアルを知り、多様性とは何かを考えるきっかけになる。単に“色”をあらわしているのではないタイトルの意味とは…？		一見、ホラー小説のように感じるが、実は切なく心温まる青春ラブストーリー。物語は、ある日高校生の僕が病院で一冊の文庫本を拾う。タイトルは「共病文庫」。それはクラスメイトである山内桜良が密かに綴っていた日記帳だった。タイトルに込められた本当の意味は、読み終えた時、きっと心に残るはずです。	
みとよ未来図書館	世界でいちばん透きとおった物語	杉井 光	ひよっひよーい	たなか ひかる
	手に取る前は気に留めることのないタイトルかもしれない。しかし、読み進めるうちに気づくはず。タイトルの「透きとおった」に込められた想いに。ネタバレ厳禁の作品のため多くは語りません。ただ『世界でいちばん透きとおった物語』を体験して欲しい。		「ひよっひよーい」と軽やかに電車と並走するお弁当箱に、駅で乗り込んでくるおかずたちとおじさん！？乗り物や食べ物のおはなしは数あれど、私史上最もキモ面白い。タイトルのオノマトペのほか、小ネタがちりばめられ読み返し必須です。おいしそうではないけれど、たまごやきが食べたくります。	
土庄町立中央図書館	そらみみ植物園	西畠 清順	3びきのかわいいオオカミ	ヘレン・オクセンバリー
	「そらみみ」だけでも気になるが、その下にさらに「植物園」ときた！？世界を巡るプラントハンター、西畠さんによる見たことがない植物たちの解説。クスッ！なるほど！間違いなし。西畠さんの手で移植された植物は小豆島にも！		この絵本は、「3びきのこぶた」のパロディでぶたとオオカミの役割が逆転しています。わるい「おおぶた」に壊されないよう、オオカミたちはどんどん家を頑丈にしていきますが…。やさしさが心をほどいていく、そんなメッセージ性のある本です。	
小豆島町立図書館	じいじ、じーっ	ホッシーナッキー	絶対に見たことがあるアレの正体、聞いてみた	井上 マサキ
	じいじが小さな孫のぼくをじーっとそばで見守るお話です。じいじならではの距離感がとても心地よく、心温まる絵本です。ぜひ、お孫さんと一緒に読んでみてください。		タイトルと本の表紙がとても気になりました。普段何気なく目にしている物にもすべてに名前があります。名前は知っていてもどうやって作っているのかどんな仕組みなのかは知らない「アレ」の開発秘話などを取材しています。明日誰かに話したくなる「へ〜！」と言いたくなる話がたくさんあります。	
三木町文化交流プラザ	君の膵臓をたべたい	住野 よる	小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売られました。	筒井 則行
	猟奇的なホラーかと思いきや、待っていたのは余命わずかな少女と孤独な少年の、切なくも美しい青春ストーリー。最初は不気味に思えた『君の膵臓をたべたい』という言葉。その本当の意味をラストで知ったとき、誰もが涙するだろう。タイトルに騙されたと思って、ぜひ手に取ってほしい一冊。		タイトルと絵のインパクトがあります！お隣徳島県の育児雑誌編集長もされていた原田さんの実話が元になったおはなしです。なぜ小学生のボクは、ナスビを売らされたと思いますか？そこにかくされたお母さんの想いにウルっときてしまう、子どもにも大人にも読んでもらいたい絵本です。	

ライブラリーうたづ	名誰も知らない世界のことわざ	エラ・フランシス・サンダース	まるごとうちゅうカレー	チョー ヒカル／作・絵
	日本にたくさんのことわざがあるように、世界にもたくさんのことわざがあります。その国の動物や食べ物が出てくることわざは、日本人から見ると不思議で面白く感じるでしょうし、一方で日本のものと同じ意味を持つことわざも存在します。味わい深いイラストとともに、世界の表現を巡ってみましょう。		今日は宇宙にうかぶたくさんの惑星をつかってカレーをつくろう！すい星、金星、地球に火星…。具がいっぱいのカレーに月の目玉焼きをのせた、とっておきのカレーです。タイトル通り宇宙を“まるごと”カレーの材料にしています。どんなカレーに仕上がったのかぜひたしかめてみてください。	
綾川町立生涯学習センター (図書館) ・綾川町立綾上図書館	文豪どうかしてる逸話集	進士 素丸	400kg捨てたら人生まるごと片づいた	ぴより
	文豪って「こんな人だったん！？」の驚きエピソードがいっぱいです。警察の職務質問にあっても、警察官を困らせて面白がる夏目漱石＆芥川龍之介。動物が大好きで、「骨董品を買ってくる」と出かけて、犬を買って帰ってきた志賀直哉。27名の意外な話をお楽しみください。		「3代続く汚部屋生まれ、汚部屋育ちの整理収納アドバイザー」という自己紹介から始まる本です。「自分の部屋が汚い、という自覚も持てなかった時代」→「片づけと出あう」→「捨て活」→「きれいなお家実現」という流れで、作者の片付けが紹介されています。年末に向けて、お片付けのヒントにいかがですか？	
多度津町立明徳会図書館	もしも彼女が関ヶ原を戦ったら	眞邊 明人	小学生取扱説明書	やまかな
	ゲーム会社のテストアプリで超リアルなメタバースの関ヶ原の戦い。軍師となった「彼女」が武将たちの性格や考え方を読み解きながら、不利な西軍で勝利をめざします。するどい考察に感心したり笑ったり。自分も一緒に戦っている気分になれて、あー楽しかった！と思える一冊です。		子どもは何をするかわかりません。おそらく、自分も同じ道を通ってきたはずなのに、大人になると子どもの考えていることがわからなくなります。この本には、子どもの成長過程で変化する言動や行動を、やさしく解説しています。なぜ？と思ったら、悩まず前向きに解決できそうです。	
まんのう町立図書館	とりあえずウミガメのスープを仕込もう。	宮下 奈都	の	junaida
	「ウミガメのスープ」という言葉はご存じでしょうか。そう、あの有名な水平思考クイズの代表的なキーワードです。意味を知っている方は、え、つまりこのタイトルって…？と一瞬ドキッとしてしまうようなタイトルです。ジャンルは読んでお確かめください。		シンプルにたった一文字。だからこそそ気になるタイトルです。だれ「の」、なに「の」、いつ「の」……ことばとことばのすきまに多い「の」をたどる不思議なお話とjunaidaさんの綺麗な絵がいっぱいの絵本です。	